

ACHERON 80/100/LF スクリーンチャンネルスピーカーシステム



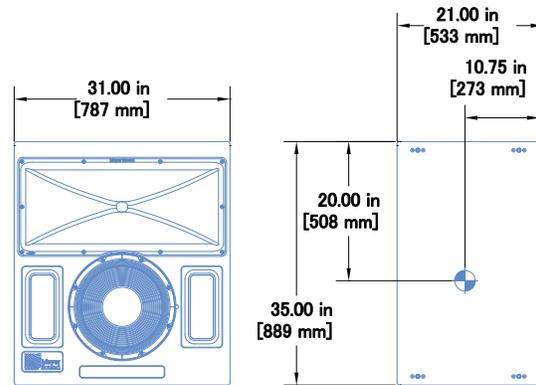
Acheron 100

MeyerSoundのシネマ製品EXPシリーズの中核をなすのが、高性能スクリーンチャンネルスピーカーAcheronです。穴あきスクリーンの背後に設置するために最適化されたこの2ウェイスピーカーは、セルフパワー技術と革新的なホーンデザインの利点を組み合わせ、映画の左、右、センターの各サウンドチャンネルに卓越した正確なカバレッジを提供します。

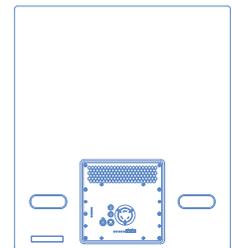
Acheronスピーカーには2つのフルレンジモデルがあります。Acheron 100は水平100度、垂直50度のホーンを備え、広い劇場に最適です。もう1つは、水平80度、垂直50度のホーンを備えた Acheron 80で、狭い劇場やリコーディングステージに適しています。

Acheronホーンは映画での使用のために特別に設計されており、非常に適切に動作するカバレッジ角度の外側で非常にソフトなロールオフを特徴としています。ホーンはエンクロージャー内に固定され、正確な音響クロスオーバー、位相特性、低域と高域の間の驚くほど一貫した垂直パターンを保証します。Acheronの580Hzクロスオーバーポイントは、会話帯域のほとんどをホーンでカバーし、シネマ用途に理想的です。

Acheronは、 ± 4 dBで38Hz~17kHzの周波数応答、および非常に低い歪みで18.5dBのクレストファクタを持ち135dBの線形ピークSPL(ノイズで測定)を誇ります。最も要求の厳しいデジタルサウンドトラックの要求に応え、広いダイナミックレンジと完全な忠実度を維持します。カリフォルニア州バークレーにあるMeyerSound本社で設計・製造されたAcheronのドライバーには、15インチの低域用ネオジウムマグネットコーンドライバーと、4インチの高域用ダイアフラムコンプレッションドライバーで構成されます。



Acheron 80/100 サイズ



ドライバーは妥協のない品質と全帯域幅を実現し、Acheronを中小劇場、リコーディングステージ、制作・ポストプロダクション施設に適しています。

Acheronの洗練されたオンボード増幅機能は、どのようなシステム設計においても一貫した予測可能な結果を生み出します。Meyer Sound独自のパワーアンプは、コンプリメンタリーMOSFET出力段を持つ2チャンネルAB/H級アンプで、総出力は1685Wです(ピーク3370W)。内蔵の信号処理には、電子クロスオーバーと補正フィルターが含まれ、フラットな位相特性と周波数特性を実現するとともに、ドライバー保護回路も搭載しています。セルフパワー設計により、安定した結果が得られるだけでなく、新しい部屋でも既存の部屋でも設置が簡単になります。

オプションの RMS™ リモート監視システムを使用すると、Compass® ソフトウェアを実行しているホストコンピューターからシステムパラメーターを包括的に監視できます。

Acheronキャビネットの側面のコーナーには、3/8インチのネジ穴が配置されており、オプションのマウントブラケットを使用することで、ユニットをアップティルトまたはダウンティルトで床に固定することができます。Acheronは、オプションのスタッキングブラケットを使用し

て、Acheron LFラウドスピーカーの上部にアップティルトまたはダウンティルトで取り付けることもできます。

特徴と利点

- 設置面積が小さく幅が狭いため、小規模な会場やフィル用途に最適
- 驚くべきパワー対サイズ比
- どのようなレベルでも卓越したリニアリティとトランジェント再生、高いピーク出力、極めて低いディストーション
- セルパワーでセットアップを簡素化し、信頼性を向上
- フレキシブルなリングングにより、フライングアレイやグランドスタックアレイに対応
- Meyer Soundの750-LFC、900-LFC、LEOPARDスピーカーと簡単に統合可能

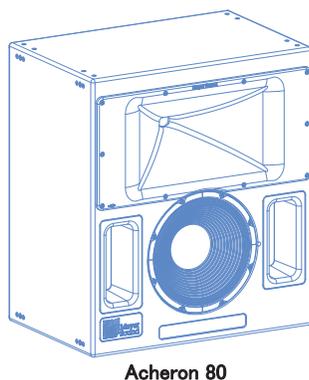
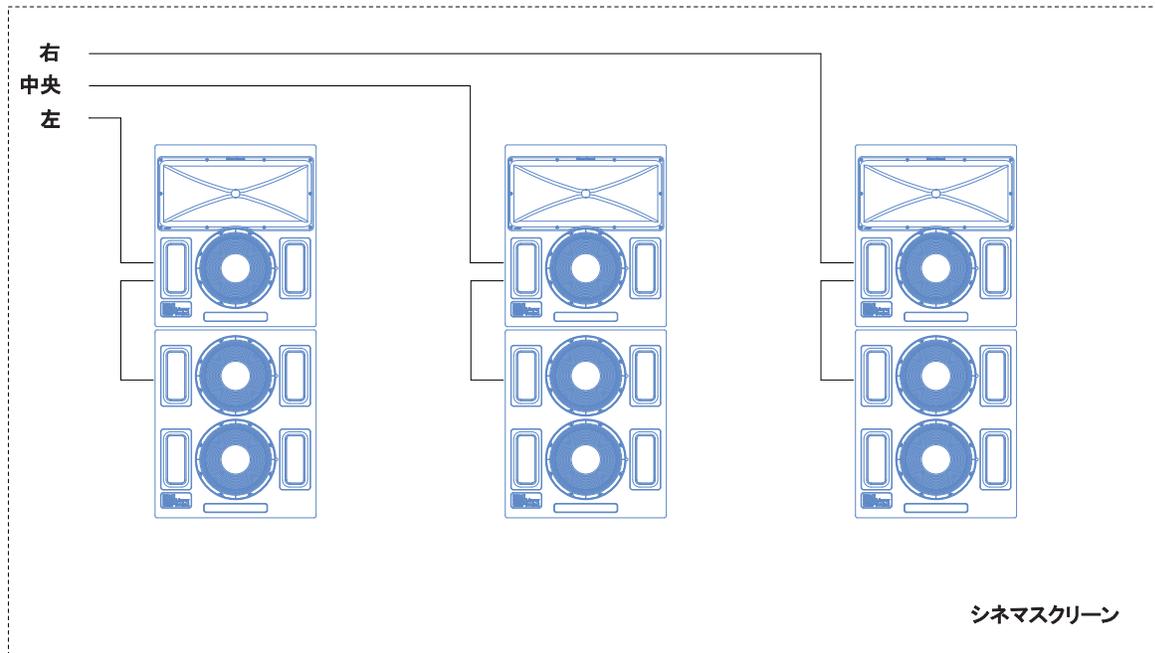
アプリケーション

- 中小規模の劇場
- Acheron LFを使用する大規模劇場
- リレコーディングステージ
- プロダクションおよびポストプロダクションスタジオ

Acheron LCRシステムとAcheron LF

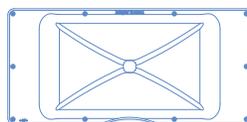
広い部屋の SPL 要件を満たすために、Acheron 80 および Acheron 100 を Acheron LF スピーカーとデジチェーン接続することができます。このスピーカーは、周波数と位相応答が Acheron を補完するように慎重に設計されています。

Acheron LFの低域周波数特性はAcheronと同じ(38Hz)で、Acheronのクロスオーバー領域での干渉を避けるために320Hzでロールオフします。

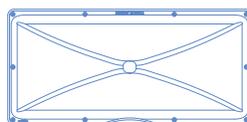


Acheron 80

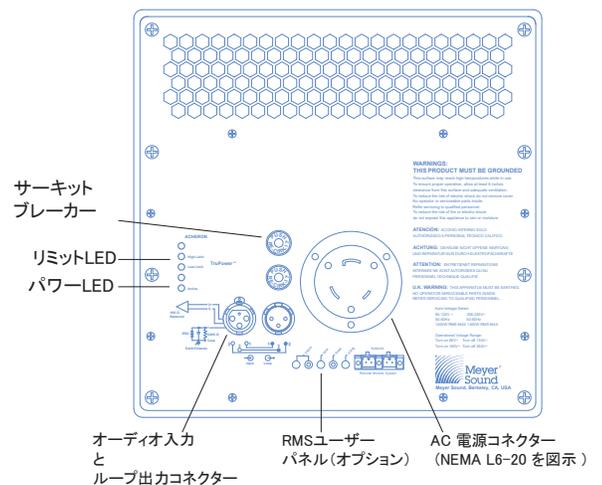
Acheron 80 ホーン
水平80°、垂直50° をカバー



Acheron 100ホーン
水平100°、垂直50° をカバー



Acheron リアパネル



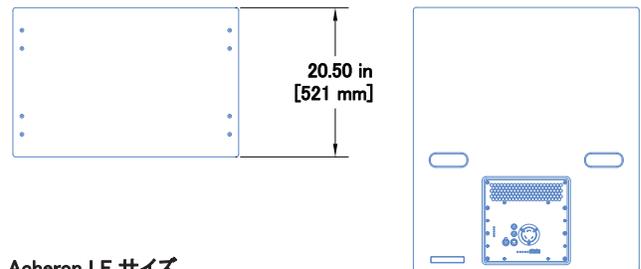
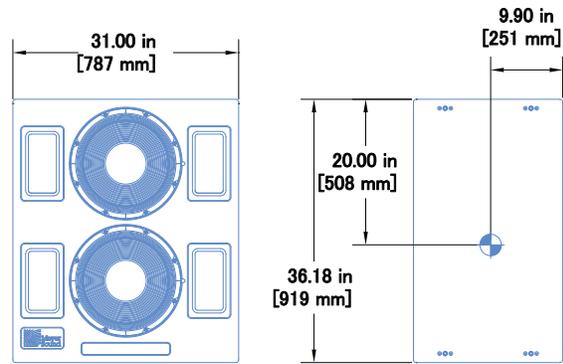


Acheron LF

Acheron LFスピーカーは、Acheron 80またはAcheron 100スクリーンチャンネルスピーカーと組み合わせることで、大型シアターで必要とされる低域ヘッドルームを実現します。デュアル15インチドライバーを搭載したセルフパワー型のAcheronLFは、LCRチャンネルのヘッドルームを拡大し、各Acheronスピーカーを3基の低域ドライバーを並べたシステムに変換します。

独自のマルチウェイグラデーションデザインは、すべてのドライバーが最低周波数でアクティブになり、内蔵のアクティブクロスオーバーによって1つずつロールオフすることで、スムーズなカバレッジと最大限の低域のインパクトを提供します。この技術により、より短い波長で発生するドライバー間の干渉が排除され、システムは低域と中低域の動作範囲を通して理想的な極性、位相、周波数特性を維持することができます。その結果、このシステムは、豊かでクリーンなサウンドで大劇場を十分に満たすのに必要なパワーを供給することができ、今日の映画サウンドトラックに入念に作り込まれた迫力とニュアンスを、妥協することなくすべてのリスナーに届けることができます。

Acheron LFはAcheronスピーカー専用に設計されました。Acheron LFの37Hzから370Hzの動作周波数帯域と133dBのリニアピークSPLは、Acheronを補完するために慎重に選ばれました。



Acheron LF サイズ

AcheronLFは、Acheronの低域セクションで使用されているものと同じハイパワー15インチコーンドライバーを搭載しています。最適なパフォーマンスを実現するために設計された高エクスカージョンのバックベントドライバーは、4インチのボイスコイルを含み、Acheronと同じ長方形の面積を持つ調整済みの通気口付きエンクロージャーに収められています。

Acheron LFは、コンプリメンタリーMOSFET出力段を備えたオンボード2チャンネルAB/H級アンプによって動作します。総出力は2250W（ピーク4500W）で、デジタルサウンドトラックの過酷な要求に容易に対応できる十分なヘッドルームをシステムに提供します。

オプションのRMS™リモートモニタリングシステムにより、Compass®ソフトウェアが動作するホスト・コンピューターからシステムパラメーターの包括的なモニタリングが可能です。

Acheron LFキャビネットの側面のコーナーには、3/8インチのネジ穴が配置されており、オプションのマウントブラケットを使用すれば、ユニットを床にマウントすることができます。Acheron 100とAcheron 80は、オプションのスタッキングブラケットを使用して、Acheron LFの上にアップティルトまたはダウンティルトで取り付けすることができます。

仕様

音響 ¹	Acheron 80	Acheron 100	Acheron LF
動作周波数範囲 ²	37 Hz - 18 kHz	37 Hz - 18 kHz	37 Hz - 370 Hz
周波数特性 ³	38 Hz - 17 kHz ±4 dB	38 Hz - 17 kHz ±4 dB	38 Hz - 340 Hz ±4 dB
位相応答	700 Hz - 17 kHz ±30°	700 Hz - 17 kHz ±30°	60 Hz - 230 Hz ±30°
リニアピークSPL ⁴	クレストファクター18.5dBで135dB (Mノイズ)、134 dB (ピンクノイズ)、136 dB (Bノイズ)	クレストファクター18dBで134dB (Mノイズ)、133.5dB (ピンクノイズ)、135 dB (Bノイズ)	クレストファクター11 dBで133 dB (Mノイズ)、133 dB (ピンクノイズ)、133 dB (Bノイズ)
指向角度			
水平	80°	100°	N/A
垂直	50°		N/A
クロスオーバー			
	580 Hz ⁵		200 Hz ⁶
トランジューサー			
低域	ネオジウムマグネット搭載ハイパワー15インチコーンドライパー1基; 公称インピーダンス4Ω		ネオジウムマグネット搭載ハイパワー15インチコーンドライパー2基; 公称インピーダンス4Ω
高域	4インチダイアフラムコンプレッションドライパー1基; 公称インピーダンス8Ω		
オーディオ入力			
タイプ	差動式、電子バランスタイプ		
最大同相範囲	±15 V DC, 過渡電圧保護のためにアース接続		
コネクタ	XLR 3ピンメス入力、オスループ出力。オプションの5ピンコネクタにより、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応。		
入力インピーダンス	2-3ピン間10 kΩ 差		
配線	ピン1: 1kΩ、1000pF、15Vクランプネットワークを介したシャーシ/アースにより、オーディオ周波数での仮想グラウンドリフトを提供します。 ピン2: オーディオ信号 (+) ピン3: オーディオ信号 (-) ケース: アースグラウンド・シャーシ		
公称入力感度	連続10dBV (3.2V rms) は、通常、ノイズと音楽のリミッターの開始ポイント		
入力レベル	オーディオソースは、ラウドスピーカーの動作帯域幅で最大ピークSPLを生成するために、600Ωで+20dBV (10V rms) を生成できるものである必要があります。		
アンプ			
タイプ	コンプリメンタリMOSFET出力段を備えた2チャンネル (クラスAB/H)		
総出力電力 ⁷	3370 W peak		4500 W peak
THD, IM, TIM	< 0.02%		
冷却	強制空冷、内蔵ファン2基 (超低速ファン1基、予備ファン1基)		
AC電源			
コネクタ	250 V NEMA L6-20 (ツイストロック) インレットまたは IEC 309 オスインレット		
自動電圧選択	自動、2レンジ、それぞれ高-低電圧タップ付き (無停電)		
安全定格電圧範囲	95-125 V AC; 208-235 V AC, 50/60 Hz		
ターンオンとターンオフ	85-134 V AC; 165-264 V AC		

仕様

消費電流	Acheron 80/100	Acheron LF
アイドル電流	0.71 A rms (115 V AC); 0.38 A rms (230 V AC); 0.79 A rms (100 V AC)	0.64 A rms (115 V AC); 0.32 A rms (230 V AC); 0.85 A rms (100 V AC)
連続消費電流 (>10 秒)	5.8 A rms (115 V AC); 2.8 A rms (230 V AC); 6.3 A rms (100 V AC)	8.8 A rms (115 V AC); 4.4 A rms (230 V AC); 10.0 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 秒) ^a	6.4 A rms (115 V AC), 3.2 A rms (230 V AC), 7.2 A rms (100 V AC)	19.0 A rms (115 V AC), 9.5 A rms (230 V AC), 22.0 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	26 A peak (115 V AC), 14 A peak (230 V AC), 28 A peak (100 V AC)	39 A peak (115 V AC), 20 A peak (230 V AC), 45 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	7 A peak (115 V AC), 7 A peak (230 V AC), 10 A peak (100 V AC)	7 A peak (115 V AC), 7 A peak (230 V AC), 10 A peak (100 V AC)
RMSネットワーク (オプション)		
	2芯のツイストペアネットワークで、アンプのすべての動作パラメーターをシステムオペレーターのホストコンピュータに報告することができます。	
外観		
サイズ	幅: 31 in (787 mm) x 高さ: 35 in (889 mm) x 奥行: 20.5 in (521 mm)	幅: 31 in (787 mm) x 高さ: 36.18 in (919 mm) x 奥行: 20.5 in (521 mm)
重量	173 lb (78.5 kg)	185 lb (83.91 kg)
エンクロージャー	高級多層カンパ材、わずかに質感のある黒色仕上げ	
保護グリル	パウダーコーティング仕上げ、六角打ち抜きスチール	
リギング	側面のコーナーに3/8インチのネジ穴があり、オプションのブラケットアダプターを使用することで、Acheronをアップティルトまたはダウンティルトで床に設置したり、Acheron LF (同じくアップティルトまたはダウンティルト) の上に設置したりすることができます。	

注釈

1. スピーカーシステムのカバレッジとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨最大動作周波数範囲です。応答は負荷条件と室内音響に依存します。
3. 自由音場、4mで1/3オクターブの周波数分解能で測定。
4. リニアピークSPLは、1mを基準として4mの半空間で測定されます。スピーカーSPLコンプレッションは、リミッターの開始、2時間の継続、50度の周囲温度でMノイズを使用して測定して、2dB以下です。

Mノイズは、スピーカーの音響性能をより良く測定するためにMeyer Sound社が開発した全帯域(10Hz~22.5kHz)のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベルを持ち、周波数によって増加するクレストファクターを持ち、全帯域幅のピーク対RMS比は18dBです。クレストファクターに関して大なり小なり(>)の記号があるのは、EQやバウンダリーの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

ピンクノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

Bノイズは、最も一般的な入力スペクトルを再現する際のシステム動作を測定値に反映させるため、またピンクノイズを超えるヘッドルームがあることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。

5. この周波数では、Acheron 80/100のトランスデューサーは等しい音圧レベルを発生させます。
6. この周波数以下では、両方のAcheron LFトランスデューサーがアクティブになります。この周波数以上では、Acheron 80/100の高い周波数(短い波長)での相互作用を避けるため、一方のトランスデューサーはロールオフします。
7. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成する最大非クリップ電圧に基づきます。
8. AC電源ケーブルは、バースト電流実効値条件下で、ケーブル伝送損失によりラウドスピーカーの電圧が規定の動作範囲より低下しないよう、十分なゲージを使用する必要があります。

ACHERON 80/100 設計仕様

スピーカーはセルフパワー型のフルレンジシステムで、トランスデューサーは直径15インチのコーンドライバーと4インチのダイアフラムコンプレッションドライバーで構成されます。ホーンオプションは2種類です：水平 80 度×垂直 50 度、水平 100 度×垂直 50 度です。スピーカーシステムは、内部処理エレクトロニクスと 2 チャンネルアンプ(各ドライバーに 1 チャンネル)を内蔵します。処理機能には、周波数と位相の補正、クロスオーバー、低域と高域セクションの保護が含まれます。クロスオーバーポイントは 580Hz です。

各アンプ・チャンネルはAB/H級とし、出力段はコンプリメンタリMOSFETです。低周波チャンネルのバースト能力は、公称4Ωの抵抗負荷で合計1125W、高周波チャンネルのバースト能力は、公称8Ωの抵抗負荷で合計560Wです。合計バーストパワーは1685W(ピーク3370W)です。歪み(THD、IM、TIM)は0.02%以下です。一般的な量産ユニットの性能仕様は、1/3 オクターブ分解能で測定すると次のとおりです。動作周波数範囲は 37 Hz ~ 18 kHz です。位相応答は 700 Hz ~

17 kHz ±30° です。Acheron 80 の線形ピーク SPL は 135 dB、クレストファクター18.5 dB、Acheron 100 のリニアピーク SPL は 134 dB、レストファクター 18 B となります(どちらも M ノイズ、自由音場4メートルで測定し、1メートルを基準としています)。

オーディオ入力は、10kΩのインピーダンスで電子的にバランスされ、公称10 dBV(3.2 V rms)の信号を受け付けます。コネクタは、XLR(A-3)タイプのオスとメスです。

ACHERON LF 設計仕様

スピーカーはセルフパワーベースシステムです。トランスデューサーは、2つの15インチコーンドライバー(4インチボイスコイル付き)で構成されます。スピーカーには、内部処理エレクトロニクスと 2 チャンネルのアンプが組み込まれています。各アンプチャンネルはコンプリメンタリ MOSFET 出力段を備えたAB/H級です。バースト能力は、公称 4 Ω の抵抗負荷で合計 1125 W です。合計バースト電力は 2250 W (ピーク 4500 W) です。ディストーション(THD、IM、TIM)は 0.02% 以下です。

オーディオ入力は 10 kΩ インピーダンスで電子的にバランスされており、公称 10 dBV (3.2 V rms) 信号を受け入れます。コネクタはXLRタイプのオス、メスとなります。一般的な量産ユニットの性能仕様は、1/3 オクターブ分解能で測定すると次のとおりです。動作周波数範囲は 37 Hz ~ 370 Hz です。位相応答は

60 Hz ~ 230 Hz ±30° です。Acheron LF のリニアピーク SPL は 133 dB、クレストファクター11 dB です(ピンクノイズ、自由音場4メートルで測定、1メートルを基準としています)。

内部電源は、自動電圧選択、EMI フィルタリング、ソフト電流ターンオン、サージ抑制を行います。電源要件は、公称 100 V、115 V、または 230 V AC ライン、50 Hz または 60 Hz です。安全機関の動作電圧範囲は AC100~240V です。バースト時の最大ピーク電流は、AC115Vで6.4A、AC230Vで3.2A、AC100Vで7.2Aです。ソフトターンオン時の突入電流は、AC115Vで7A、AC230Vで7A、AC100Vで10A以下です。AC 電源コネクタは、ロック式 NEMA L6-20 オスインレットまたは IEC 309 オスインレットです。

スピーカーシステムは、オプションのRMSリモートモニターシステムモジュールをサポートします。

すべてのラウドスピーカー部品は、わずかにテクスチャーが施されたブラック仕上げの高級カンパ板で構成された音響的に通気性のあるエンクロージャーに取り付けられています。寸法は、幅:31 インチ(787mm)×高さ:35 インチ(889mm)×奥行き:20.5 インチ(521mm)です。重量は 78.47 kg です。オプションのブラケットアダプターにより、Acheron LF の上だけでなく、床にも固定でき、アッパティルトまたはダウンティルトが可能です。

スピーカーは Meyer Sound Acheron です。

内部電源は、自動電圧選択、EMI フィルタリング、ソフト電流ターンオン、サージ抑制を行います。電源要件は、公称 100 V、115 V、または 230 V AC ライン、50 Hz または 60 Hz です。

安全機関の動作電圧範囲は 100 ~ 240 V AC です。バースト時の最大ピーク電流は、115 V AC で 19.0 A、230 V AC で 9.5 A、100 V AC で 22.0 A です。ソフトターンオン時の突入電流は、115 V AC で 7 A、230 V AC で 7 A、100 V AC で 10 A 以下です。AC 電源コネクタは、ロック式 NEMA L6-20 オスインレットまたは IEC 309 オスインレットです。スピーカーシステムには、オプションの RMS リモート モニタリング システム モジュールのサポートします。

すべてのラウドスピーカー部品は、わずかにテクスチャーが施されたブラック仕上げの高級カンパ板で構成された音響的に通気性のあるエンクロージャーに取り付けられています。

寸法は、幅: 787 mm (31 インチ) x 高さ: 919 mm (36.18 インチ) x 奥行き: 521 mm (20.5 インチ) です。重量は 185 ポンド (83.91 kg) です。オプションのブラケット アダプターを使用すると、Acheron LF を床に固定できます。スピーカーは Meyer Sound Acheron LF です。

Meyer Sound Laboratories, Inc.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

ACHERON 80/100/LF
04.188.004.01 E
Copyright © 2020. All Rights Reserved.

+1 510 486.1166
meyersound.com/contact
meyersound.com



株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel: 03-5667-9682